

幼稚園だより

令和6年1月31日

墨田区立八広幼稚園

園長 金澤 里美

—2月号—



たくさん遊ぶ＝たくさん学ぶ

園長 金澤 里美

先月の中旬頃から、八広幼稚園の子供たちはこま回しに挑戦してきました。本日、各クラスで「こま大会」を行いました。降園時には、全員が「こま名人」の証、こまメダルをかけてもらい、自信たっぷりの表情を見せてくれることでしょう。

5歳児ぞう組さんのこまは、投げごまです。たくさん練習しないと回せるようにはなりません。この1ヶ月の間、登園後の「こまタイム」に、繰り返し挑戦してきました。私も子供たちの前で回し方を見せたり、手を添えて回し方を教えたりしながら一人一人の頑張りを励ましてきました。「弟子」という言葉を絵本で知り、「園長先生、弟子にしてください。」という子もいました。何度も失敗し、「ああ～。まただめだ。」と残念がったり、成功すると「やった！」と大喜びしたり、一喜一憂。どの子も、「できるようになりたい」「もっと上手になりたい」という気持ちで真剣に取り組んでおり、言葉にならない心の中までも伝わってくるようでした。

うさぎ組のこまは、糸引きごまです。糸をうまく巻けるようになると比較的簡単に回すことができます。繰り返し遊びながら、失敗でまっすぐ着地せず不安定な回り方をしているものにも「〇〇回り」と名前を付けて楽しんでいる姿がありました。今は、こまカードという、自分で色を塗った紙を回っているこまの上から載せ、色の見え方が変わることや、何枚載せられるか、ということを楽しんでいます。

遊びの中で、「できるようになる」ことはとてもうれしいことです。幼児期は、新しいことと出会い、「知識・技能の基礎」としていろいろなことが積み上がっていく時期です。そして、幼児期には、「知識・技能の基礎」「思考力、判断力、表現力の基礎」「学びに向かう力、人間性等」が一体的に育まれることが大切です。幼稚園では、小学校以降の学習のように「今日はこれを学びます」と決まっていますが、子供たちは、そのときの興味・関心から、次にやってみたいこと、学びたいことを自ら見付けて取り組んでいきます。数年前のぞう組では、こま大会が終わってから、クラスに一人だけいた左利きの友達と同じようにみんなが回せるようになりたいと、新たな目標を見付け、遊びが盛り上がったことがありました。実は投げごまを回すには、ひもの巻き方、こまの持ち方、投げる方向、力の入れ方などいろいろな条件があるため、なかなか成功せず苦労していましたが、頭も体も使い、粘り強く取り組む様子から、子供たちのたくさんの学びを見取ることができました。

「たくさん遊ぶ＝たくさん学ぶ」を繰り返し、成長していく子供たちです。明日から2月。今年度、残りの2ヶ月も、充実した日々となるよう努めてまいります。よろしく願いいたします。

【2月のねらい】

うさぎ組

- 学級のみinnで活動することを楽しんだり、つながりを感じたりする。
- 様々な活動を通してもうすぐ年長になるという思いをもつ。

ぞう組

- 学級のみinnで活動することを楽しみながら満足感を味わう。
- 様々な活動を通して就学への期待をもつ。